

令和二年度俳人協会宮城県支部俳句研修会  
通信俳句会成績表

一 本部派遣選者（柏原眠雨先生） 選

○特選

駒草や雨をんなてふ山ガール 遠藤 克子  
しんがりを担任潜る茅の輪かな 及川 奈奈夫  
廃校の残暑背負ひて尊徳像 高木 秀子

○秀逸

消毒液まみれの手もて藪蚊打つ 柏木 ともみ  
引込線またぎて海へ秋の雲 小松 温美  
秋夕焼下校子を待つ島渡舟 富田 洋子  
向日葵や坊主頭の転入生 杉山 三枝子  
リモートワークの夫とひととき水羊羹 菊池ゆう子

○佳作

格子窓映る掘割鷗外忌 黒田 洋子  
海霧深し真白く大き献花台 宮村 公子  
甚平の恩師変はらぬ大声 佐々木 亀三男  
蜻蛉の羽化に立ち合ふ万歩計 澁谷 としの  
ヒマラヤの桃色の塩新米に 坂内 佳禰  
黒板にチョークの軋る大暑かな 篠沢 亜月  
石段の先は山路や野紺菊 小松 温美  
沖ながめ浜の夫婦の夕端居 藤野 尚之  
朝顔の藍色の濃き染師町 石川 千代子  
爽やかに無垢の淡さの産着かな 木村 螢雪子

二 互選高得点

○ 11点

大学のロゴのクッキー小鳥来る

酒井 美代子

○ 9点

しんがりを担任潜る茅の輪かな

及川 奈奈夫

○ 8点

秋天へ組体操の笛はづむ

岡本 幸治

海霧深し真白く大き献花台

宮村 公子

廃校の残暑背負ひて尊徳像

高木 秀子

○ 7点

風鈴や遊び疲れの子の寝息

酒井 美代子

終点は大夕焼なり縄電車

遠藤 克子

○ 6点

秋夕焼下校子を待つ島渡船

富田 洋子

息子には息子の記憶冷し酒

寒河江 桑弓

○ 5点

夏空へ飛ぶスケボ―の二回転

高木 秀子

水槽に密の海月の触れ合はず

幸野 峰

朝顔の藍色の濃き染師町

石川 千代子